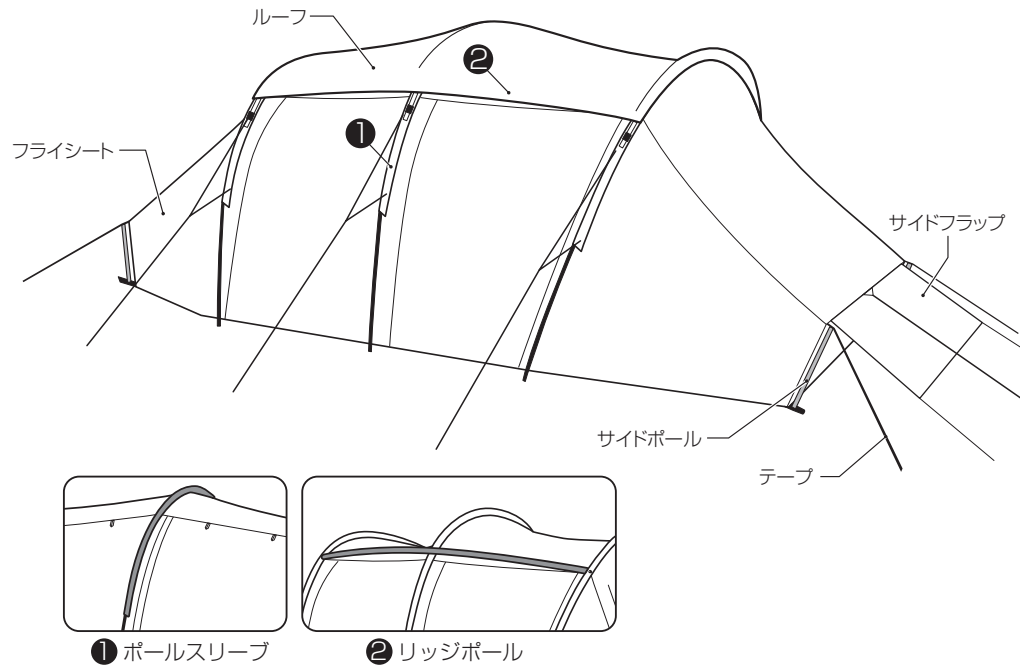
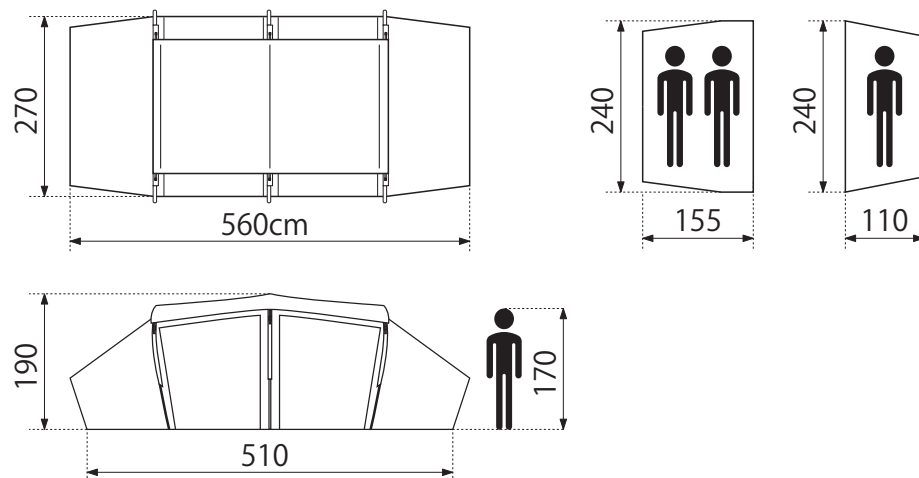


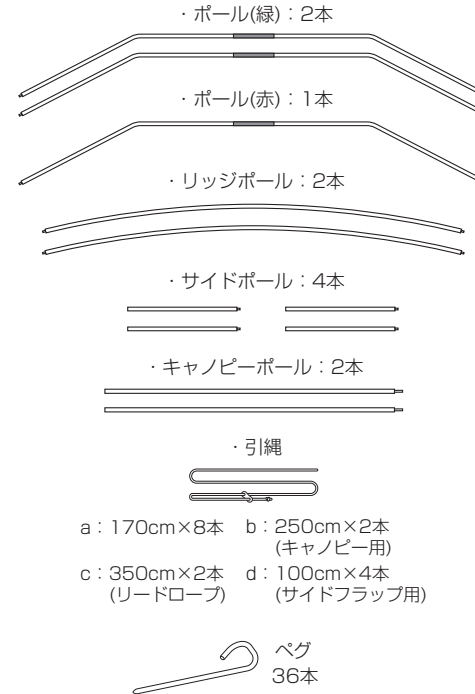
1.各部名称



2.平面図



3.部品一覧図



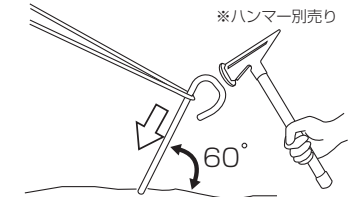
ポイント

各ポールを収納袋から取り出す際は、必ず地面に置いてから取り出してください。地面に直接各ポールを出すと、ショックコードや各ポールが破損する恐れがあります。



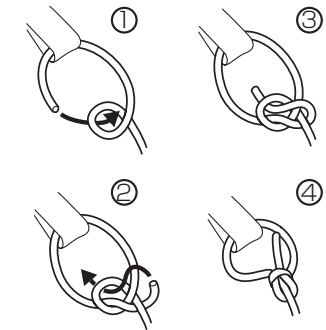
本製品をしっかり張るための基本点

1.ペグの打ち方

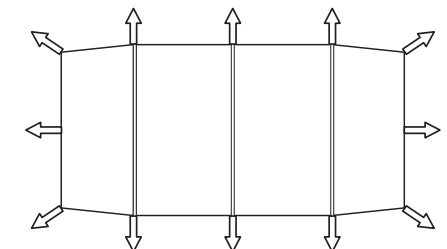


・地面に対して60度の角度で打ち込んでください。

2.引き縄の結び方

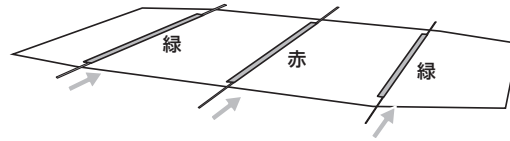
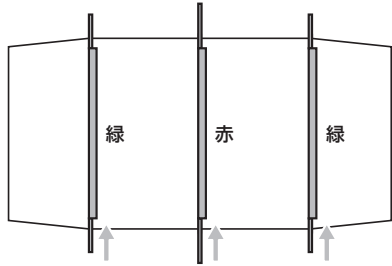


3.引き縄・テープの張り方向



定員	1～3人
インナーサイズ	約240×155×155 (高さ)cm 約240×110×150 (高さ)cm ※平面図参照
材質	フライシート/75Dポリエステル リップストップ 耐水圧2,000mm インナー/68Dポリエステル インナーフロアー/210Dポリエステル オックスフォード ルーフ/TC 耐水圧3,000mm
テントポール	ポール/アルミ(#7001) キャンピーポール/スチール
付属品	ペグ、引き縄、キャンピーポール 収納袋
収納サイズ	約33×30×75cm
重量	約20kg

1 ポールの設置①



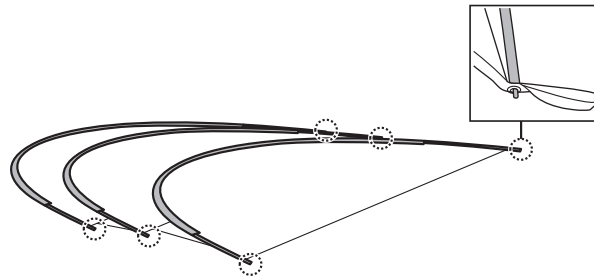
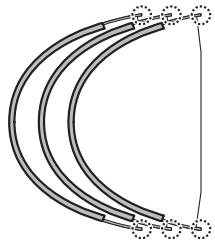
- ・フライシートを広げ、ポールを3本組み立てます。
- ・ポールスリーブとポールの色を合わせて、ポールスリーブにポールを通します。

※出入口は閉じた状態で設営してください。

注意

- ・本製品の設営は必ず二人以上で行ってください。
- ・一人で組み立てると本製品(生地、テントポール)に無理な力がかかり破損することがあります。
- ・設営中は本製品が地面に固定されていないため、少しの風でも本製品が変形して破損することがありますので、風の影響を受けにくい場所で本製品の組み立てを行ってください。また、風が強い場合は本製品が飛ばされないように風上側をペグで仮止めしてください。

2 ポールの設置②



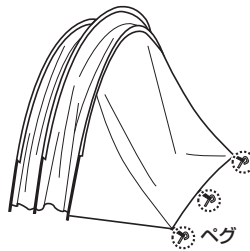
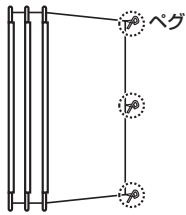
- ・ポールを湾曲させて、ポールと同じ色のループにあるハトメに、ポールの先端を差し込み固定します。

※ポールがポールスリーブに引っ掛かった状態で無理に設営したり、ポールを湾曲させすぎると、ポールが折れるなど破損する恐れがあります。

注意

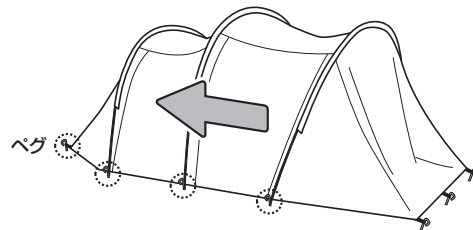
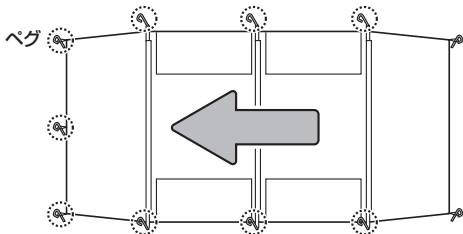
- ・ポールを湾曲させるため、ポールのはねかえりに注意してください。

3 フライシートの立ち上げ①



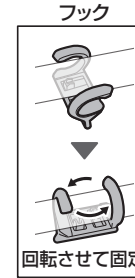
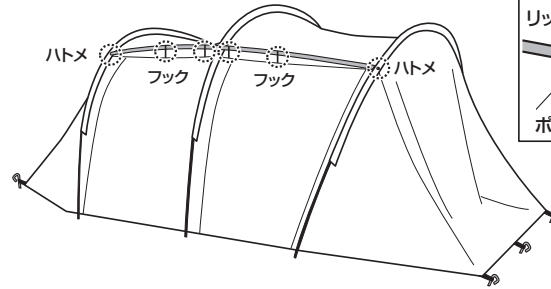
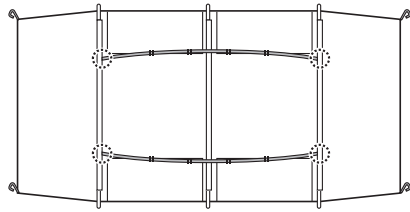
- ・フライシートのループ(黒色)3箇所をペグで固定します。

4 フライシートの立ち上げ②



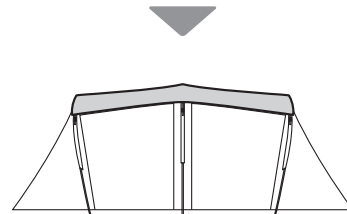
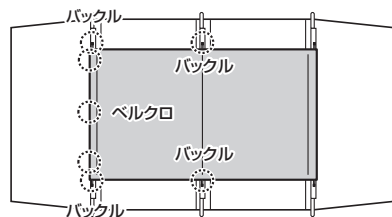
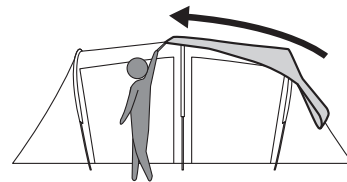
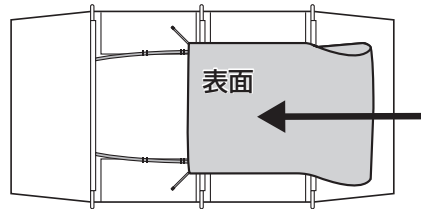
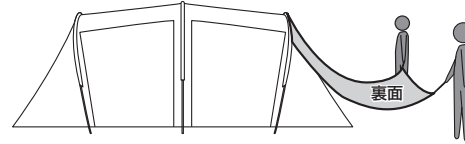
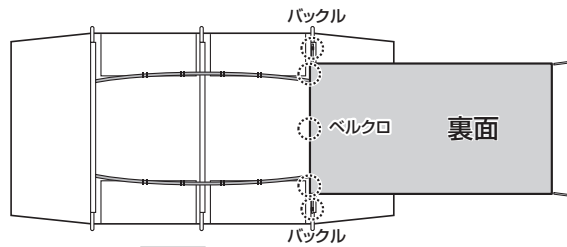
- ・ポールをまとめて立ち上げ、ゆっくりとまっすぐに展開していきます。
- ・フライシートにたるみ、しわができないようにフライシートのループ3箇所をペグで固定し、フライシートを自立させます。
- ・ポール元のループ6箇所をペグで固定します。

5 リッジポールの設置



- ・リッジポールをポールスリーブのハトメに差し込み、フックをかけて固定します。
- ※ポール先端がポールスリーブのハトメから貫通していることを確認してください

6 ルーフの設置



1.

- ・ルーフの裏面(シームテープが貼ってある面)を上にして広げます。
- ・ルーフをポールスリーブのベルクロ3箇所とバックル2箇所に固定します。

ポイント

- ・ルーフは前後対象で、どちらの向きからでも取り付けられます。

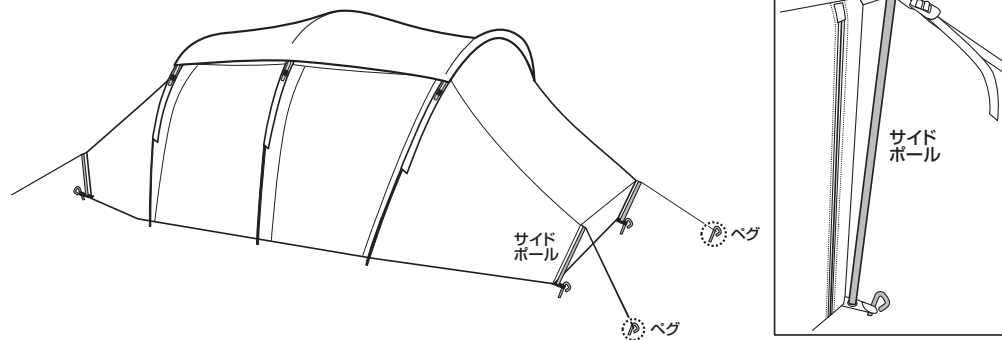
2.

- ・ルーフの両端を持ち、二人で同時にルーフをフライシートに覆いかぶせていきます。

3.

- ・ルーフをかぶせ終えたら、ベルクロとバックルで固定します。
- ・ルーフにたるみやシワができないように、バックルについているテープの長さを調節します。

7 サイドポールの設置

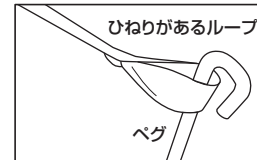


- ・サイドポールを4本組み立てます。
- ・フライシートのループ(黒色)のハトメに、サイドポールを差し込みます。
- ・テープをペグで地面に固定し、テープの長さを調節してフライシートの前部を立ち上げます。
- ・反対側も同じようにサイドポールを取り付けて、後部を立ち上げます。

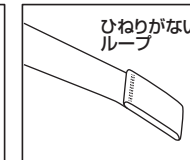
注意

・ペグはひねりがあるループに差し込んでください。

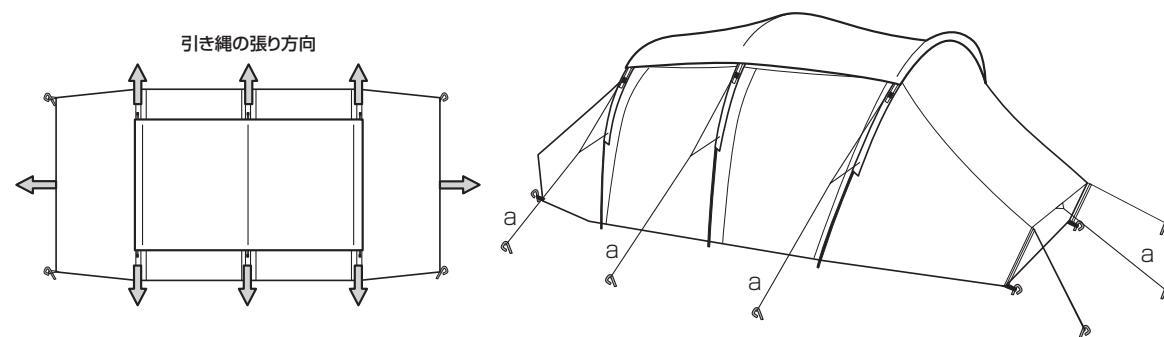
ペグ用ループ



抜け防止用ループ



8 引き縄の設置

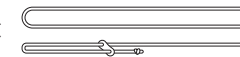


- ・引き縄(170cm)8本をペグで地面に固定します。

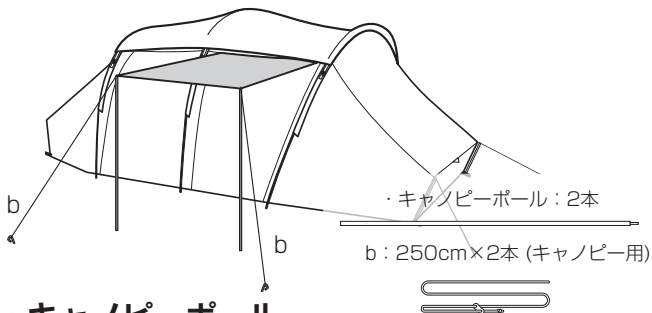
ポイント

- ・テントを風雨による変形、破損から守るため、ペグ、引き縄を使いテントをしっかり地面に固定してください。
- ・テントにたるみ、しわができないようにペグ、引き縄で張り具合を調整してください。たるみ、しわは雨漏りの原因になります。

a : 170cm×8本

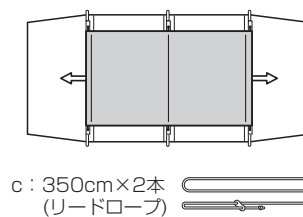


その他機能



・キャンピーポール

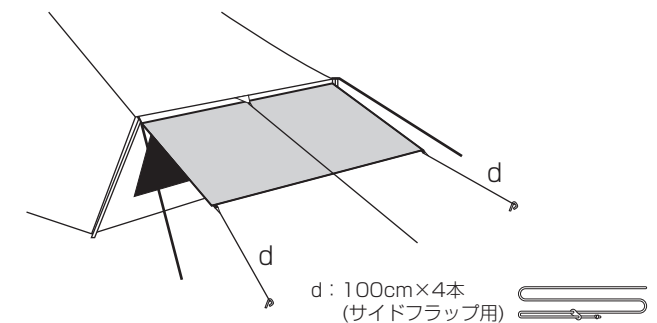
キャンピーポール、引き縄(250cm)を使い、キャンピーを展開することができます。(雨天時にキャンピーを張り出す場合、雨が溜まらないように傾斜をつけます。また、風の強いときはキャンピーを閉めて使います。)



c : 350cm×2本
(リードロープ)

・リードロープ

雨が降っている場合、ループ部に雨水が溜まるのを防ぐために図の位置に引き縄(350cm)を結び付け、ペグで地面に固定してください。

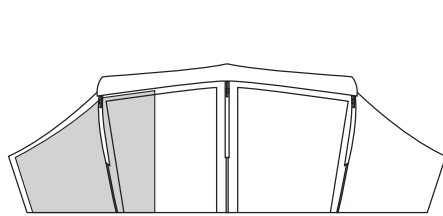


・サイドフラップ

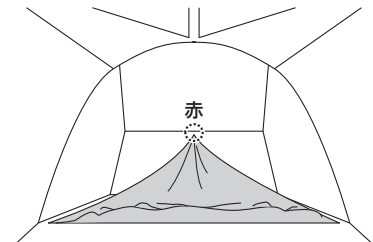
引き縄(100cm)を使い、サイドフラップを展開することができます。

9 インナーテントの設置

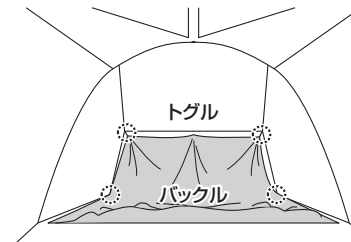
・インナーテントを設置します(インナーテントの前後に注意してください)。



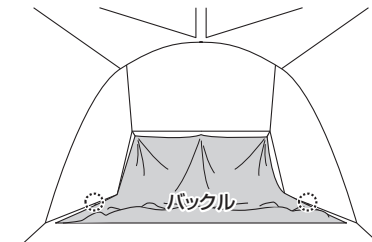
インナー大
2人用



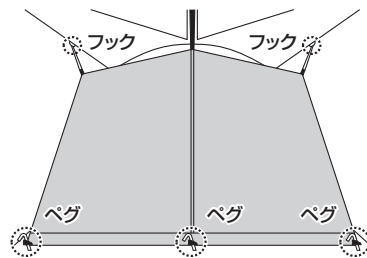
1. インナーテントを広げて、奥側中央の赤色のリングとトグルを繋ぎます。



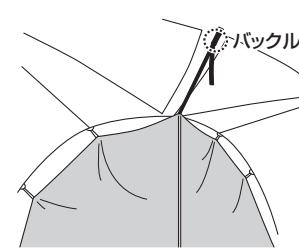
2. 奥側のリングとトグル、バックルを繋ぎます。



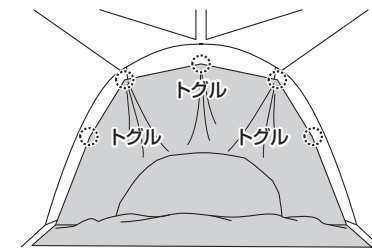
3. 一つ手前のバックルを繋ぎます。



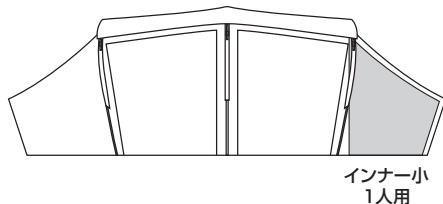
6. 手前側上部のリングとフックを繋ぎます。前側下部のループをベグで固定します。



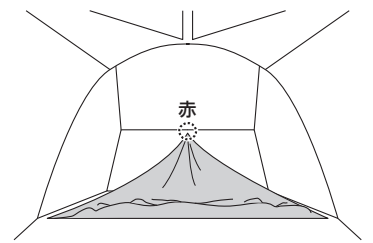
5. 手前側中央のバックルをフライシート天井中央のバックルと繋ぎます。



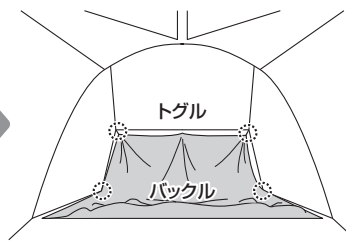
4. 上部のリングとトグルを繋ぎます。



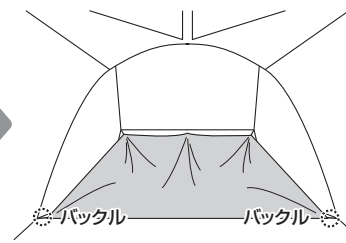
インナー小
1人用



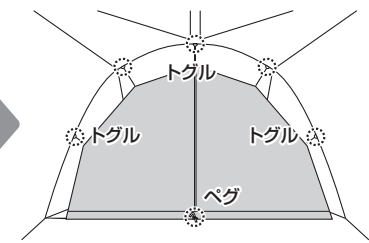
1. インナーテントを広げて、奥側中央の赤色のリングとトグルを繋ぎます。



2. 奥側のリングとトグル、バックルを繋ぎます。



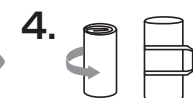
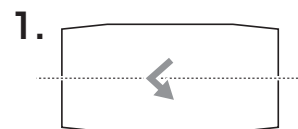
3. 手前側のバックルを繋ぎます。



4. 上部のリングとトグルを繋ぎます。中央のループをベグで固定します。

・撤収

テントをたたむときは設営方法の手順を逆に行います。テントが湿気っていないか確認し、湿気っている場合は完全に乾燥させてください。収納袋にしまう前に部品のチェックを必ず行います。



ポイント

テントをたたむときは、出入口を開けると丸める際に空気が逃げ、たたみやすくなります。

・フライシート・ルーフ・インナーテントを収納袋と同じ幅の帯状になるまで折りたたみます。

・ボールを袋に収納し、フライシート・ルーフ・インナーテントと共に収納袋と同じサイズになるまで空気を抜きながら丸め、収納袋に収納します。

一般キャンプ用テント 取扱説明書

このテントは、一般キャンプ用に設計されています。山岳用、常設用としてご使用にならないでください。

この取扱説明書には一般キャンプ用テントの機能と使用方法および使用上の注意について記載してあります。一般キャンプ用テントの機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくためにご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みいただいた後も大切に保管してください。

下記警告サインの意味をご理解の上、取扱説明書をお読みください。

警告 指示に従わない場合は死亡、または重度の障害を負う可能性があります。

注意 指示に従わない場合は軽傷、または他の財物の損傷を引き起こすことになります。

ポイント 本製品をご使用になる際、特に確認していただきたいこと。

■使用上の注意

設 営 ・ 徹 収 時 の 注 意

ポイント キャンプ場などでの使用前に、必ず取扱説明書の内容を把握し、一度本製品を組み立ててパーツの不足、不良箇所がないかをご確認ください。

⚠ 警告

■キャンプ場やキャンプ許可地域以外ではご使用にならないでください。

・キャンプ場以外でのキャンプは基本的には禁じられています。特に河原でのキャンプは、雨やダム放水などにより、急に増水することがあり危険です。

■かけ崩れ、落雷の可能性のある場所に設営しないでください。

・かけは長雨などの影響で崩れる可能性があります。テント内では周囲の変化に気づくのが遅れ、重大事故に巻き込まれる恐れがあります。

■河原は、増水の恐れがありますので設営しないでください。

・河原は、上流部の雨で増水することがあります。テントに水流があたれば水勢や浸水によってテントを固定している地面が緩み、テントが流されてしまいます。

・海岸、湖畔は水位が上昇することでテントに浸水することがあります。万一そのようなキャンプ場でテントを設営するときは、なるべく水辺から離して設営してください。

■炎や熱源から離れた場所に設営してください。

⚠ 注意

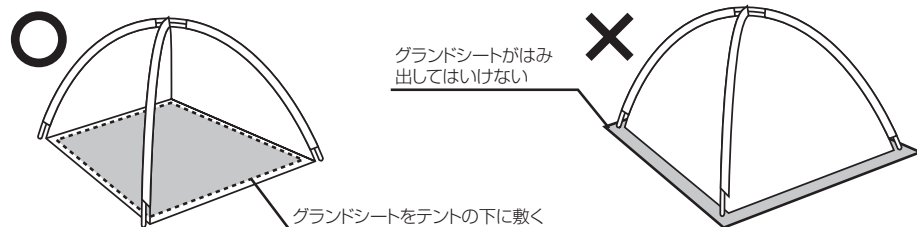
■平らで水はけがよく、風の弱い場所で設営してください。

・雨水の通り道になっている場所、周囲より低くなっている場所は降雨時に水が集まります。また、雨水がフロア下に流れ込み、フロアからしみ込む場合がありますので、市販のグランドシートのご使用をおすすめします。

・設営前に風を感じたらなるべく障害物の風裏に設営してください。

ポイント

グランドシートはテントのフロアサイズよりもひと回り小さいものをご使用ください。フロアより大きいと、フライシートから流れ落ちた雨がグランドシートに溜まり浸水の原因になります。



■テントの設営は必ず二人以上で行ってください。*ツーリング用テントは一人で組み立て可能です。
・一人で組み立てるとテント(生地、ポール、ジョイント)に無理な力がかかり破損することがあります。

■出入口が風下側になるよう設営してください。

・出入口より風が吹き込みテントが飛ばされたり、テントが変形し破損することがあります。

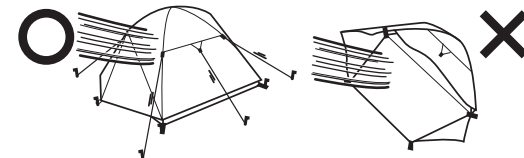
■悪天候時にはご使用にならないでください。

・台風、集中豪雨、暴風時にはご使用を中止していただき、安全な場所へ避難してください。

・降雪時は雪の重みによりテントが破損する恐れがあります。

ポイント

好天気でもキャンプ場では天候が急変することがあります。テントを風雨による変形、破損から守るため、ペグ、引き縄を全てご使用になり、しっかり地面に固定してください。テントが地面に完全に固定されていない状態では、微風でもテントが変形しポール、ジョイントなどが破損する恐れがあります。



■芝生、土などペグを打ち込むのに適度な固さの地面に設営してください。

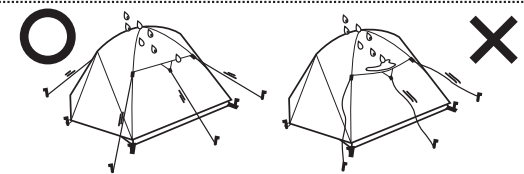
・砂浜、ぬかるみではテントを地面に固定できません。

■屋根部分に雨が溜まらないように設営してください。

・たるみ、しわ部分に雨が溜まった場合、雨漏りすることがあります。

ポイント

テントにたるみ、しわができないようにペグ、引き縄で張り具合を調整してください。たるみ、しわは雨水の溜まり場になり雨漏りの原因になります。

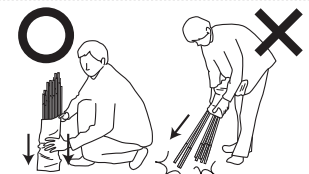


■ポールを放り投げたり、ぶつけないでください。

・キズが付き、ポールの破損の原因となります。

ポイント

ポールを袋から取り出す際は、必ず地面に置いてから取り出してください。地面に直接ポールを出すと、ショックコードやポールが破損する恐れがあります。



■ご使用後のテントは、日陰でよく乾かし完全に乾いてから収納、保管してください。

・濡れたまま放置すると生地の色が他の部分へ色移りしたり、カビの原因となります。

■ポールは乾いた布などで水分をよく拭きとり収納、保管してください。

・ポール接続部に付いた砂、土を拭きとってからポールを折り畳んでください。接続部にキズが付きポールが抜けなくなる場合があります。

■ポールは中央接続部から折り畳んでください。

・ポール端接続部から折り畳むと接続用ロープに負担がかかりロープが破損する恐れがあります。

ポイント

テント内側と外気の温度差により、テント内側に水滴が付くことがあります。これは結露現象であって雨漏りではありません。また、結露はテント内の水蒸気の量が多くなり過ぎた状態(飽和状態)でも発生します。現時点の技術や素材では結露を完全に防止することは非常に困難です。結露がしにくい環境をつくる方法としてテント内の換気をお勧めします。

